

# ふるさと あいかわ イチ推し グランプリ

## たくさんのご応募 ありがとうございました!



「ふるさと あいかわ イチ推しグランプリ」には、Instagram部門258点、ラブレター部門207点、合わせて465点のご応募をいただきました。優秀作品の受賞数は50点を予定していましたが、素晴らしい作品が多数寄せられたため、76点に増やしました。優秀作品は町ホームページに掲載していますが、ここで一部をご紹介します(個人情報を除き、いただいた原文のまま掲載しています)。

### ♡【ラブレター部門】

僕の家族に会ってほしいか？  
そう言われたのはもう50年前。  
貴方の車に乗ってたり着いたのが愛川町でした。  
この長閑な風景にドキドキしながらも驚いた事を今でも覚えています。  
貴方はずっと36歳のまま。私は71歳のおばあちゃんになってしまいました。  
10歳と7歳だった子供達も、もう貴方の年齢をとうに越し、社会人となり、親となりました。  
貴方のお墓の前で、子供や孫達と手を合わせ、帰路の途中にエライ最中を食ふ、中津川のせせらぎに耳を傾け「最中おいしいね」「バアバ、魚が光ったよ」と無邪気に笑う姿を見ると、ああ 貴方にも合わせてあげたかったという気持ちが溢れます。  
ラブレターなんて書いた事無かったけど私の気持ちは、あの時のまま。  
だから次会った時に、「年取ったね、ママ」とは言わないでね。  
(藤沢市 Mさん)

夫 ●●様  
昭和四十一年 群馬県伊勢崎市からこの地 愛川町の半原に嫁いできました。  
お見合で初めて訪れた馬渡橋近く、中津川をかこむ景に、惚れてしまったからです。  
あれから五十五年 なに「ごもなく」と言いたいところですがあなたは去年道路で転倒し救急車の世話になり、それ以後病院での入院生活となりました。  
コロナ禍の中リモートでの面会は可能のようですがいまだ実現してはおりません。  
今の私にやれることはあなたが家に帰られた時 元氣な私でむかえることができるようにすること。そのことだけを考えて毎日がんばっております。その日のくることを一日も早く願っております。  
(愛川町中津 Mさん)

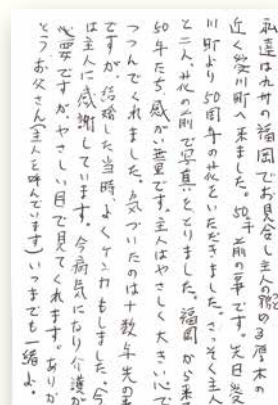


「イチ推し」の風景にいだかれて  
今から20年前の平成13年、夫の両親が住む半原に転居。周辺は山が迫り、坂が多く、少々不便を感じる事しきり。そんな毎日でしたが、心とある時、家から眺める風景に、心を癒やされている自分に気付きました。  
愛川大橋と日向橋を結ぶ中津川の流れ。川の手前には、大正・昭和・平成を歩み、静かな雰囲気の中にも存在感のある旧横須賀水道半原水源地。川向こうに川北の町並みを一望。まさにパノラマの世界。ここには、四季折々の風情があります。  
糸の町半原も、時代と共に変貌しましたが、私の「イチ推し」のこの風景が、次の世代にどのように受け継がれるのか、これからは皆に愛され、安らげる里でありますよう願っております。  
(愛川町半原 Oさん)

30年前 私の娘を相模川を渡って、山の方へ嫁がせるとは…どうしたご縁かと思つて折りました。  
でも今では孫たちと中津川やあいかわ公園であそんだことがとても良い思い出となっています。  
嫁ぎ先から届く、愛川の土・水・空気に育てられた米や野菜など、本当においしいいただいております。  
娘の御近所の方々も親しみやすく、同年の方々や昔の話に花が咲いてしまいます。一昔前は、三増と葉山、田名などは婚姻も多く、あちらこちらに知り合いもいたものでした。  
豊かな自然の中で、温かい人たちが様々な活躍をされ、町も発展されることを心よりお祈りしております  
(相模原市 Sさん)

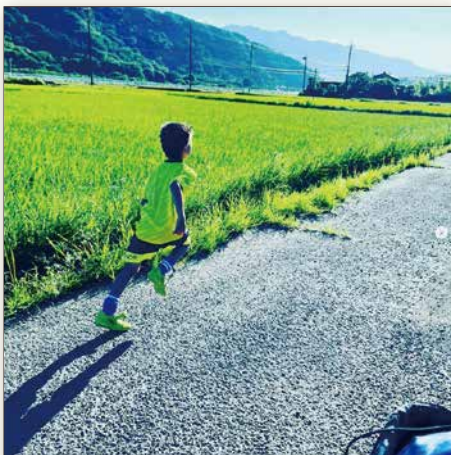
私達は九州の福岡でお見合し主人の務める厚木の近く愛川町へ来ました。50年前の事です。先日愛川町より50周年の花をいただきました。さつそく主人と二人、花の前で写真をとりました。福岡から来て50年たち、感謝です。主人はやさしく大きくなりました。ついでに感謝です。今病気に罹り介護が必要ですが、やさしい目で見てくれます。ありがとうございます。いっまでも一編よ。  
(愛川町角田 Kさん)

私達は九州の福岡でお見合し主人の務める厚木の近く愛川町へ来ました。50年前の事です。先日愛川町より50周年の花をいただきました。さつそく主人と二人、花の前で写真をとりました。福岡から来て50年たち、感謝です。主人はやさしく大きくなりました。ついでに感謝です。今病気に罹り介護が必要ですが、やさしい目で見てくれます。ありがとうございます。いっまでも一編よ。  
(愛川町角田 Kさん)





Instagram post by skdrea6166. The caption reads: "ここは私が小さい頃におばあちゃんとよく散歩したスポットのひとつです。小さかった私にとって蚊柱や虫がすごい場所であり好きではなかったですが、今改めて散歩してみると、まるで京都の嵐山を思わせるような景観です。晴れた日には風に揺れる葉ずれの音や木もれ日が心地良く、まるで全身が清められるようです。日々の仕事の疲れも緩和され、週末になるとリラックス効果を求めて、おばあちゃんを思い出しながら散歩にでかけます。近所にこんなに風情が良いスポットがあるなんて、贅沢ですよ。"



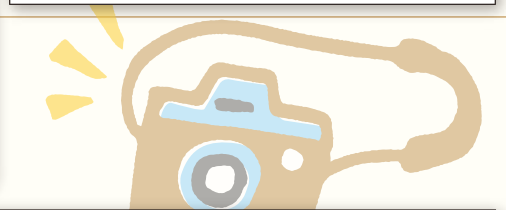
Instagram post by usanponamazu. The caption reads: "結婚を機に愛川町に来て20年以上。駅のない町に住むことは不安もありましたが、車中心に生活になり、今まで行かなかったような場所にもたくさんいくようになりました。子どもたちは良く散歩にも行きます。近所でもカエル、おたまじゃくし、ドジョウ、バッタ、トカゲ、鯉などたくさんの生き物に会える自然がまだ残る情景は、とても良い。子供たちは自然の中で伸び伸び育っています。お気に入りには愛川公園のつつじの丘上の展望広場で、寝転ぶと喧騒から解放され、癒されます。子供たちの中に綺麗な情景が良い思い出として残るといいなあと思います。"



Instagram post by makkycat2021. The caption reads: "愛川町に越して来て、はや11年。3歳だった長男も、中学卒業となります。下に3人弟妹が産まれ、四児のママとなりました。そんな私にとって、愛川町と言えば中津川です。夏はもちろん、春も秋も冬も子ども達の遊び場です。夏祭りの八雲祭では、お神輿のお浜降りもありますね。今年はコロナ禍で、キャンプやBBQもできない状態でしたが、そのおかげと言うと申し訳ない気もしますが、天気の良い日は毎日のように川遊びを楽しみました。自然が豊かで、たくさんの鳥や動物、虫に出会えますし、山に囲まれて、四季の移り変わりを身近に感じることができるのが、本当に大好きです。これからも、そんな自然を守りながら、ゆっくりと未来を築いて行って欲しいです。のんびりと、優しく過ごせる町に！"



Instagram post by lovesukekun. The caption reads: "私にとって愛川町はルーツです。祖父母も母も愛川町出身。祖母は、101歳まで愛川町で生まれ育ち過ごしました。祖母とは愛川町の色々な所へ行きました。その中でも、あいかわ公園へは足の弱った祖母ともお散歩として訪れていました。駐車場へ停め15~20分は歩きますが、鳥のさえずりを聞きながら、緑が綺麗な広場や山々を抜け、石小屋ダムに到着すると祖母はいつも、「ここは昔は綺麗な中津川渓谷で石小屋が作れるくらい大きな石がたくさんあって、ワラビも採れたんだよ」と祖母の見てきた景色を話してくれました。大沢の滝を抜け、宮ヶ瀬ダム下に来ると恐怖を感じるくらい水の力を感じます!! 宮ヶ瀬ダムを真下から見上げることが出来ます。祖母が見てきた愛川町の景色の移り変わりや、祖父に関しては、戦時中の話も聞きました。愛川町の先人達が守り遺してくれたこの綺麗な水、緑、空気、景色、歴史や伝統を今を生きる私たちが守ってあげたいと思います。愛川町は思い出も自然もマイナスイオンもたくさんが詰まっている宝箱~(ノ^o^)/🌟長すぎちゃったけど大丈夫かな👉"



Instagram post by ayakochiii\_800. The caption reads: "そろそろ紅葉が楽しみな季節になりますね😊今年はいいろいろ行けたらいいなあ🌟写真はコロナ前の愛川ふれあいの村!紅葉の時期になると黄色の絨毯がとっても美しく道いっぱい溢れ、空を見上げれば赤やオレンジや緑の葉が青空によく映え、木漏れ日がキラキラ輝いて黄色の道を照らします😊子供の頃からこの場所で遊んできた私は身近になりすぎて、ずっとずっとこの美しさに気づけずいました。カメラを始めてファインダー越しに見るこの場所は何処をどう切り取っても絶景で、改めて近くにこんな美しい世界が広がってるなんて素敵な場所に住んでるんだらうと思いました!春は桜がたくさん咲いて、夏は緑のコントラストが眩しくて、冬は銀世界が広がる時もあります!そして秋は今年もはらはら舞う黄色や赤やオレンジの美しい世界が楽しみです😊早くマスクを取って深呼吸出来る日々が来ますように😊"